				及于切于木				干风	23 年	٥Н	1/ 口	TFIX	
事務事業	■サービス部	門 都整	-10	交通安全施設整備事業									
No./名 称	山又 抜 部	<b>1</b> 7											
主管課	道路整備課			関連課									
分野名	道路整備	直路整備											
目標 (目標値)	歩行者の安												
人口等の	データ区分		22年度	21年度			20年度			備  考			
データ	人口	1	77,161人	17	76,669人			176,484人		5年4月			
	世帯数	78	3,812世帯	78,	78,131世帯			77,430世帯			本台帳)		
	事業の対象者数												
運営資源	決算値(千円)		25,051	6	3,057			30,221					
状 況	(国・県)		10,918	2	23,540			8,711					
	(負担金等)												
	(一般財源)		14,133	39,517			21,510						
	人員配置数		2.2		2.6			1.9					
	人 件 費(千円)		19,116	23,952			17,817						
協働の													
	パートナー												
事務事業	総事業費(千円)		44,167	8	87,009			48,038					
運営経費	市民1人当		249	492			272						
	りの経費(円)		240		432			272					
	対象者1人												
	当りの経費(円)												
ベンチマーク	団体名												
(県内外自治体	実施計画の進行												
や民間団体と の比較値)													
	<u> </u>												
指標		評価 年度		21年度	22年度		23年度		24年度		最終年度(年度)		
交通安全施設整備事業の達成率		0	目標値	20箇所	20箇所		20箇所		20箇所		20箇所		
◎目標を達成 〇目標に向かって前進 △横ばい ×後退			実績値	121箇所	21箇列	Í							
中事業に含まれる	小事業の評価(	→個別事業	きの概要は裏面)										

		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	【安は表囲/											
評価の視点	①効率性	事業費や人件		②妥当性		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法 的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。								
	③有効性	事業の成果が行場合影響がある	,t:	④公平性	1.00	受益機:	会が偏って	ていない	か。受益者が	負担は公立	平・公正か。			
小事業名		H22決算値	評価	適切=〇、	、要改善=	△(評価	iの視点を参照	照)	⇒	方向性	A:充語 し	実•拡大 B:顼	見状継続(	C∶改善∙見直
交通安全施設維持事業		3,987千円	①効率性	〇 ②妥当性	〇 ③有	効性 O	④公平性	0	⇒	□A	■B	□C	□D	□E
		事業の概要	道路ライン	の補修等を行	い、交通	≨故の防	方止を図る。		•					
		21,054千円	①効率性	〇 ②妥当性	〇 ③有	効性 O	④公平性	0	⇒	□A	■B	□С	□D	□E
交通安全施設整備事業		事業の概要	交通安全加	布設を改修し、	安全で円	骨な交通	通を確保する	) 。	•					
			①効率性	②妥当性	③有	効性	④公平性		⇒	□A	□В	□C	$\Box D$	□E
		事業の概要												
			①効率性	②妥当性	3有	効性	④公平性		⇒	□A	□В	□с	□D	□E
		事業の概要												
			①効率性	②妥当性	3有	効性	④公平性		⇒	□A	□В	□c	□D	□E
		事業の概要			_									_
			①効率性	②妥当性	③有	効性	④公平性		⇒	□A	□В	□c	□D	□E
		事業の概要												

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)											
H22年度の課題	事故防止対策及び交通の円滑化において、交通安全施設の整備は急務であるが、道路区域(道路幅員等)の個々固有の現場状況がある中での対応 には限界があり苦慮している。										
課題解決のための取組	個々固有の現場状況において、実施可能でかつ有効な対策を実施したことにより、交通の円滑化及び事故の防止が図られた。										
未解決の課題	市民等からの要望件数が多く、実施項目も多岐にわたるため、整備には多額の費用と期間を要することから、全ての案件について完了には至っていない。										
今後の方針	交通の円滑化及び安全性の確保に向け、創意工夫しながら交通安全施設の整備改修に努める。										
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	В	※□事業完了	課長名	道路整備課長 吉野正弘						

個別事業の概要 (単位:千円)

個別事業の概要							(単位:千円)
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業	の評価結果
		878	ガードレール塗装等維持修繕	550		■適切	□見直し余地あり
			道路ライン等設置業務委託	3,500		■適切	□見直し余地あり
		676		3,300	3,470	■週切	口見直し未地のり
	主な						
	な。						
交通安全施設維	個別						
持事業	事						
	業						
	未						
		070	交通安全対策施設工事	10.000	7.000	== '≠± Lm	
				10,000		■適切	□見直し余地あり
			交通安全対策施設工事(事故繰越)	5,640		■適切	□見直し余地あり
		879	交通安全対策施設工事(繰越明許費)	9,500	7,508	■適切	□見直し余地あり
	主な個別						
ᅔᅜᇚᄉᄯᇌᅘ	な						
交通安全施設整 備事業	加见						
<b>順争未</b>	事						
	業						
	*						
						□適切	□見直し余地あり
	主な						
	な						
	個						
	別						
	事						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
						_~_	
	÷						
	主な						
	個						
	個別						
	事						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
						니쁘엥	ロ元旦し示地のツ
	主な個						
	伊						
	別						
	事						
	業						
<b> </b>							
						□適切	□見直し余地あり
	主						
	主な個						
	個						
	別						
	事						
	業						
			·			,	